



戦争法廃止・安倍政権退陣を求める9・19国会行動 (2017. 9. 19)



No.520

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
E-mail  
chian@bz03.plala.or.jp  
頒価 50円

## 総選挙は市民と野党の共闘で 安倍政権を退陣させよう



展させようと訴えました。  
全国大会決定は、①全ての治安維持法犠牲者等の侵害された人権の救済と名誉・個人の尊厳を回復させること。

(2ページへつづく)

増本会長は、衆院解散・総選挙の狙いを解明しながら、選挙のなかでも、「同盟運動の空白期間」をつくらぬ努力が重要だと強調。総選挙後の情勢は、同盟組織の実力をつけることを求めているとして、2つの目的、4つの活動をいかなる情勢の中でも発大飛躍を実現する特別決議」を採択しました。

総選挙(10月22日投票)を前にした9月29日、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部は、都内の全労連会館で、中央常任理事会を開きました。増本一彦会長が情勢報告を兼ねたあいさつ、田中幹夫事務局長が第38回全国大会後3ヶ月の活動報告と方針を提案、榎本よう子事務局次長が財政報告をおこなったあと、18人が発言。総選挙のたたかいと会員拡大、国会請願署名、財政の確立などに全力をあげて取り組むことを決定。「市民と野党の共闘で安倍政権の退陣を勝ち取り、創立50周年にむけて同盟運動の一

## 2万人会員と署名の自主目標を達成しよう

9月中央常任理事会

### 主な記事

- 9月常任理事会開く ..... 1
- 私も一言／川村俊夫(憲法会議代表幹事) ..... 3
- ブロック会議始まる ..... 4
- 請願署名紹介議員一覧(9月25日現在時) ..... 5
- 抵抗の群像／八島大郎 ..... 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 ..... 7

(1ページからのつづき)

②治安維持法犠牲者等の闘いと抵抗の歴史が果たした両性の平等にもとづく国民主権主義、基本的人権尊重主義という日本国憲法のいしずえを築いた成果・功績の顕彰をさせることだと指摘しました。

この二つを達成するために、①来年3月15日の同盟創立50周年をめざして、2万人の会員拡大を一

気呵成にとりくむ、②各都道府県が自ら決めた国会請願署名目標を達成する、③市民連合運動に参加する個人と団体との友好・連帯の関係を強めて、立憲野党の共闘の発展に貢献し、国会請願の紹介議員を拡大する、④同盟運動を支える財政を確立すると強調しました。

### 「種まく人びと」上映し

#### 入会訴え会員拡大を

田中幹夫事務局長



田中事務局長は、総選挙  
勝利、共謀罪・  
九条改悪反対  
の先頭に立つ

と同時に、映画「種まく人びと」

DVD普及上映会の開催などで、

2万人会員の実現と署名活動を飛躍的に前進させようと訴えました。

この間、優れた経験が生まれて前進している県・支部があり、この教訓を学び全国に普及して活動を前進させようとのべました。

会員は9月1日現在、大会比76人増、1万5411人です。

会員拡大では、各県本部が特別期間を設けるなど力を集中して、年内に県本部自主目標を達成する作戦を立案する。その際、いつ、だれが、どこで、だれに、を明確にすることが重要です。

県本部では5人以上拡大にチャレンジする会員11チャレンジャーを何人組織するか目標をもって取り組みましょう。中央本部では、顕彰制度11大会以降3月31日まで

に会員10人を拡大した方に、表彰状と「種まく人びと」DVDか

『抵抗の群像』第3集を副賞として贈呈します。目標達成県と支部を表彰することにします。

支部建設こそ同盟活動の原動力です。新支部には中央本部から結成記念に同盟旗を贈呈します。

国会請願署名は9月1日現在、

1万6155筆・目標比3・7% (前年対比、+5072筆)。通常国会の紹介議員95人。年内100人以上をめざします。

冊子「憲法違反・戦争準備の『共謀罪』を廃止しよう」は、約7900部の注文があり、1000部増刷しました。

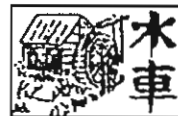
50周年記念映画「種まく人びと」のDVDは2700枚を普及。三重県本部では全会員に普及しました。上映小集会を無数に開いて、

入会と署名の協力を訴えましょう。財政は、年末までに会費納入率を全国平均80%、2000万円募金は75%、年末募金、新年名刺広告の取組みを強化しましょう。

そのほかブロック会議、地方議会での意見書採択、全国女性交流集会、高知青年交流会、50周年記念集会在関西、東京で50周年記念レセプションの開催、『抵抗の群像』第3集の発行などについても報告しました。

討論では、菅野亨一国際部長が国際活動の報告。

(3ページにつづく)



傘は、雨傘・日傘、  
相合傘・破れガサイヤ  
ブレガサ(キク科の植

物)など、辞書による  
と「傘」は、上から降  
下してくるものに対して直被しな  
いように防護する用具だ。「核」  
の傘はどうなっているか。この傘  
で日本の国民を守るのだろうか

▼60年安保改定時に事前協議制を  
もうけたが、「核密約」でアメリ  
カ艦船・航空機の通過・寄港・飛  
来は、事前協議から外す。72年沖  
縄の核抜き本土並み返還にも、同  
様の沖縄核密約がかわされている

▼核の傘は、冷戦時代と違い、核  
拡散が進む中で国民を守ることは  
出来ない。国連で「核兵器禁止条  
約」が採択された今、唯一の戦争  
被爆国であり、4度の未曾有の被害  
をだした日本が参加し、世界と  
協力し、対話で北朝鮮問題の解決  
を図るべきだ▼9条は、戦争と、  
武力による威嚇又は武力の行使は、  
国際紛争を解決する手段としては  
永久に放棄した。総選挙で安倍暴  
走内閣の退陣を。

(中)

(2ページからのつづき)

大石喜美恵女性部長は第28回全国女性交流集会の準備状況を報告し、参加を呼びかけました。

【発言者名・発言項目】

○塩田一行(大阪)・・・50年記念募金100万円目標達成。

○福井正樹(岡山)・・・会員拡大。

「種まく人びと」上映し6月から8月で17人入会。署名1090筆。意思疎通。

○田辺実(奈良)・・・青年交流集会への参加。長谷川テル顕彰事業。

○森岡幸一(高知)・・・高知青年交流集会(11月25〜26日)。映画

「母」上映、650人鑑賞し5人入会。

○小室仁弥(埼玉)・・・野党共闘と同盟。関東ブロック署名状況。各

県本部財政担当者と中央本部との活動の改善。

○宗形孝至(神奈川)・・・50周年に

○牛山靖夫(岩手)・・・県本部大会報告。顕彰活動。犠牲者名簿整備

を通しての活動の広がり。日本母親大会開催と同盟の参加、大逆事

件と啄木、賢治の精神に共鳴。

○鎌田哲成(青森)・・・三八地域の支部づくり(11月18日結成予定)。

大きな支部(青森・225人)の

活動の改善。

向けた県本部・支部活動の決意。

○眞殿天童(大阪)・・・犠牲者名簿作成の進行状況(865人)。会

員増やしは、いつでも、どこでも、だれにあたるか段どりを。

○岩田治樹(埼玉)・・・会員拡大で10月〜11月特別期間に設定、毎年

30名ずつ着実に。「種まく人びと」上映運動。

○二階堂邦子(広島)・・・犠牲者名簿作成。追加分をCDにして普及。

○井藤英治(東京)・・・板橋支部の活動。拡大はあらゆる行事と結ん

で推進。会員100人目標を達成。

○中嶋育雄(東京)・・・都本部40周年記念大会。世代交代めざし新任

事務局次長5人の配置と役割分担進む。

○藤田廣登(千葉)・・・毎月1人の会員拡大。著名人の力を借りて入

会の呼びかけ作成を。

○岡正信(兵庫)・・・地方議会への意見書の意義。支部役員会の役割。

入会申込書、署名用紙、国会請願リフレットの3点セットの所持。

○山崎雅子(神奈川)・・・レッド・ページ反対運動との連帯。



構成です。

「『自衛隊は、違憲かもしれないけれども、何かあれば、命を張ってくれ』というのは、あまりにも無責任」(5月3日)とい

### わたくしたち主権者の真価を發揮するとき

川村 俊夫

自衛隊は違憲か合憲かを争点にして、容認するとの国民世論は多数です。

ば、命を張ってくれ」というのは、

あまりにも無責任」(5月3日)とい

います、実際は国民の反対で阻

止されてきた9条2項改悪を実現す

る「ウルトラC」なのです。

法律の世界には「後法は先法を廢

総選挙をたたき、改憲勢力が3分の2を確保

したら、今度こそ一気に改憲につきすすむ一そ

れが安倍戦略です

9条が戦後最大の岐路にたたさされている今、

私たちは主権者の真価を發揮するときです。

(憲法会議代表幹事)

### 私も一言

# ブロック会議はじまる 顕彰活動、会員拡大、財政活動を交流

## 女性30人など85人が参加

### 東北ブロック

東北ブロック会議は、9月6日・7日、秋田県大仙市で開かれまして、85人(女性30人、初参加21人)が参加しました。

日本共産党秋田県委員会の富岡昭書記長が来賓挨拶し、国賠同盟会員でもある鈴木俊夫湯沢市長のメッセージが紹介されました。

宮城県平和委員会常任理事の本田勝利氏が「治安維持法の経験は歴史の逆行を許さない」の演題で講演。治安維持法の犠牲者であり、東北で不屈に闘った医師の高橋賢氏の活動・業績を紹介し、感銘を与えました。

田中幹夫中央本部事務局長が、第38回全国大会の真髓を報告しました。

恒例の主催地の特別報告は秋田県本部・最上健造会長が、「治安維持法と秋田の作家たち」小林多



喜一、鈴木清、松田解子」をテーマに報告。牛山靖夫常任理事の「討論の方向について」をうけ、初参加4人を含む25人が発言。犠牲者の父母の思い出や、顕彰活動を語りました。財政問題や県版「不屈」の発行について、悩みや経験を活発に交流しました。

(秋田県本部・最上健造)

## 消極性・マンネリ克服を

### 北信越ブロック

北信越ブロック会議は9月20・21日、長野県山ノ内町で開かれました。

5県から35人が参加しました。

増本会長が「2017年ブロック会議でかちとるべき課題について」報告。解散・総選挙を強行する安倍政権の狙いについて、「森友・加計」疑惑の追求を逃れ、改憲強行、北朝鮮問題で軍事介入などを狙うものであり、日本の平和と安全に直接関わる選挙と指摘。

我々も必死の闘いが求められている選挙であること。同時に選挙中も同盟の活動が棚上げされるようなことは許されず、選挙の中でこそ実力をつけることが必要だと強調しました。

同盟の「2つの目的と4つの活動」を達成するためにどう闘うかについて詳しく説明しました。

続いて各県から基本報告がされ、これらに基づいた討論では24人が発言し、今までの消極性やマンネリズムを克服して創意と積極的な活動で広く呼びかければ大きな前進は可能だという教訓を生かして、選挙の中でも独自の追求で大きな前進を勝ち取ろうとの決意を固め合う会議となりました。

(長野県本部・柄沢 義郎)

## 先駆者服部之総から学ぶ

### 中国ブロック

中国ブロック会議は、9月10日、島根県浜田市国民宿舎・千畳苑で開かれた。

会議には、山口5人、広島4人、鳥取4人、岡山6人、島根14人、中央1人が宿泊、日帰りを含め65人が参加しました。



島根県の若手研究者、河野純一「赤旗」記者が「郷土の先駆者・服部之総」と題して特別講演しました。増本一彦中央本部長は「同盟創立50周年を迎えて」と題して記念講演をしました。

2人の講演を聞き、「感銘した」(5ページつづく)

# 請願署名の紹介議員のみなさん=合計95人

近藤 昭一	金子 恵美	小川 淳也	福島 伸享	小宮山 泰子	逢坂 誠二	古川 元久	福田 昭夫	篠原 孝	階 猛	中川 正春	津村 啓介	玉木 雄一郎	重徳 和彦	枝野 幸男	石関 貴史	横路 孝弘	寺田 学	田島 一成	菅 直人	奥野 総一郎	岡本 充功	近藤 洋介	岸本 周平	赤松 広隆	民進党無所属 クラブ33人	58人	衆議院	初鹿 明博	菊田 真紀子	升田 世喜男	宮崎 岳志	今井 雅人	郡 和子	中島 克仁	黄川田 徹	日本共産党 21人	赤嶺 政賢	池内 さおり	梅村 さえこ	大平 喜信	笠井 亮	志位 和夫	穀田 恵二	和 亮	難波 奨二	川田 龍平	羽田 雄一郎	大島 九州男	相原 久美子	舟山 康江	杉尾 秀哉	有田 芳生	鉢呂 吉雄	田名部 匡代	小川 敏夫	江崎 孝	櫻井 充	大塚 耕平	仲里 利信	無所属 1人	小沢 一郎	自由党 1人	吉川 元	照屋 寛徳	民連合 2人	宮崎 岳志	升田 世喜男	本村 伸子	社会民主党市 民連合 2人	徳永 エリ	小川 勝也	日本共産党 14人	辰巳 孝太郎	田村 智子	井上 哲士	市田 忠義	岩淵 友	紙 智子	倉林 明子	小池 晃	大門 実紀史	武田 良介	仁比 聡平	山下 芳生	山添 拓	希望の会 5人	山本 太郎	福島 みずほ	又市 征治	森 ゆうこ	木戸 口英司	沖繩の風 2人	糸数 慶子	伊波 洋一	(順不同)
-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-----	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	--------	-------	-------	-------	-------	------------------	-----	-----	-------	--------	--------	-------	-------	------	-------	-------	--------------	-------	--------	--------	-------	------	-------	-------	-----	-------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	------	-------	-------	-----------	-------	-----------	------	-------	--------	-------	--------	-------	------------------	-------	-------	--------------	--------	-------	-------	-------	------	------	-------	------	--------	-------	-------	-------	------	------------	-------	--------	-------	-------	--------	------------	-------	-------	-------

(4ページからのつづき)

「誤解が解けた」など多くの声  
がよせられ、今後の会員拡大に期  
待が広がりました。

岡山県の全国大会を受けての組  
織拡大の取り組みに成功している  
経験は学ぶべき貴重な内容を含ん  
でいました。

懇親会の石見神楽は、増本会長  
が飛び入りして楽しむ大盛況で各  
県と親睦を深めることができまし  
た。

今年春から準備してきた会議が  
終わり、新しい運動の発展に力を  
尽くしたいと思えます。

(島根県本部 佐々木忠且)

## 2つの分散会で経験交流

### 近畿ブロック

近畿ブロック会議は、9月7日・  
8日の両日「神戸しあわせの村」  
に約70人が集って開かれました。

第一日目は、戸崎曾太郎兵庫県  
本部会長が歓迎のあいさつ述べた  
後、富田宏治関西学院大学教授の  
記念講演は「政治的変動の時代が  
始まった」と刺激的な内容でした。

中央本部増本一彦会長は「治安



維持法 弾圧犠 牲者を 語るこ とは日 本国憲 法に結 實した 闘いの 歴史認

職を広げることだ、今こそ同盟運  
動の発展が求められている」とあ  
いさつしました。

「基調報告」は、有川功中央本部  
副会長・大阪府本部会長(写真)  
が、全国大会で決定した「2つの  
目的、4つの運動」について述べ  
ました。

そのあと各県からそれぞれ特徴  
ある活動の報告がありました。夜  
の交流懇親会には60人が参加し、  
楽しい時間を過ごしました。

第二日目は2つの分散会にわか  
れて活動経験を交流しました。途  
切れなく発言が続き、各地域での  
多様な活動と教訓が心置きなく語  
られました。

(兵庫県本部会長・戸崎曾太郎)

## 抵抗の群像



## 通夜の席で多喜

## 二の顔を描いた

やしまたろう  
八島 太郎

八島太郎(本名 岩松惇(あつし)、ペンネーム淳(じゅん))は1908年9月21日、鹿児島県肝属(きもつき)郡小根占(こねじめ)村(現南大隅町根占)で、医師の岩松親愛とトクの三男として生まれました。末っ子の八島には7歳と5歳上の兄と2歳上の姉がいました。

神山小学校、鹿児島二中を卒業。中学で絵に熱中した八島は、絵描きになることを決めて東京芸術学校(現東京芸術大学)を受験しストリートで合格しました。しかし軍事教練ポイコットで放校処分になりました。

## プロ美展に漫画や油絵出展

日本プロレタリア美術家同盟(略称・ヤンプ)に加入、執行委員、中央委員を歴任しました。第5回プロレタリア美術展に

「共産党公判の朝」を出品するなど、

プロ美展に漫画や油絵を出し、機関紙「美術新聞」の編集長を務め、漫画評論も執筆しました。雑誌『戦旗』『ヤンプ』などに漫画、カット、挿絵、表紙も描きました。

八島は31年に、美術運動の同志である新井光子と結婚しました。33年2月20日、築地署に検挙・虐殺された小林多喜二(29歳)の通夜の席に駆けつけ、同志の岡本唐貴(とうき)は油で、八島は鉛筆で、急ぎ描きます。

八島の画は3月5日発行の「美術新聞」11号に、またプロレタリア作家同盟の『プロレタリア文学』4・5月合併号にも掲載されました。

4月26日、八島は印刷所で「美術新聞」12号の校正中に逮捕され原稿も押収されました。ヤンプ出版部は残ったゲラ刷りと版で5月3日付同号を発行しましたが、

「発禁押収絶対反対」を訴えている「美術新聞」は終刊となりました。

横浜港からアメリカへ

34年、釈放のあと、妻・光子の実家(神戸)に帰って、拷問によって痛めつけられた身体を療養しました。その間も戦争批判の作品制作、反戦ビラの配布などによる逮捕、拘留は10回に及びました。37年には漫画や文章の執筆を禁止されました。

八島太郎・光子夫妻は39年3月、5歳になる息子マコを光子の両親に託して横浜港を出港、アメリカに向かいました。「満州事変」による15年戦争勃発より8年、盧溝橋事件で日本の大陸侵略が本格的になつて1年後でした。

その少し前、八島は電車の中で、召集令状を手に、マコと同じくらの男の子を抱きしめている男の姿を目にして、自分の身にも応召の危険が迫っていることを知りました。

人の命を救う医者の子として生まれた自分が、人の命を奪う戦争に身を投じたくない。犬死にしたい。故郷の海、さえぎるもの

のない海から水平線を眺めて、故国を脱出する決意を固めたのです。当時、渡米は簡単に実現できる時代ではありません。まして、矢島夫妻のような経歴の持ち主には、とりわけ困難でした。乗った船は光子の父の仕事上の友人の持ち船、貨物船でした。

渡米した八島は44年、米戦略情報局(OSS)の活動に参加して、日本兵士への反戦ビラやパンフレットを作り、「生きて帰って軍部なきあとの日本建設のため家族とともに尽くせ」と呼びかけました。

45年には戦略爆撃調査団の一員として帰国。長男・マコと再会。マコは後にロサンゼルスで演劇活動を通じて少数民族運動を展開した俳優マコ・イワマツです。

八島は、以来ニューヨークで個展を3回開き、画家八島太郎の評価を高めました。八島の絵本『からすたろう』(偕成社)には79年に「絵本にっぽん大賞」が贈られました。

94年6月30日、カリフォルニア州ガーデナーで死去、85歳でした。

(鹿児島県本部・上野隆司)

短歌

碓田のぼる選

今朝青く晴れ渡る空吾が街に「ミサイル発射」とJ

アラート鳴る 岩手県 小杉 正夫

バス停に若き女性が「赤旗」を読み立つ短かき時惜  
しむよう 静岡県 江川 佐一

先輩らの苦難の日々を封じ込め網走監獄はいま博物  
館なり 岐阜県 田中 良

「護憲」署名に挑む道なり彼岸花赤々燃えて八十路  
の仲間 福井県 元山章一郎

ガス燈の点り静かに暮れてゆく坂の湯島の風情ひと  
しお 埼玉県 福家 駿吉

マラリアに侵されし兄うわごとにて天皇バンザイを叫  
びて没す 兵庫県 岸本 守

赤穂米青枯れにせし注連縄は飯南町より出雲大社へ  
島根県 小玉 信恵

百億円のオスプレイなど飛ばすより福祉に使えと今  
日も思えり 大分県 渡辺 幹生

同盟は二十一文字福井県本部御中と書き足し楽し  
福井県 黒戸 六

われ嘗て加害者なりし割れガラス夏陽に刃治安維持  
法 茨城県 藤沢 宏至

〈選のあとに〉大義の全くない国会解散に、列島に  
怒りが渦巻く。戦後最悪の安倍内閣を倒す、たたか  
いの火柱がたつ。こうした中で、短歌もたたかう。  
抒情詩としての短歌表現がたたかうとは一深く考え  
たい。

俳句

月に見る瀬長翁長のこころざし

叔父の骨いまだ南方夏の島 埼玉県 小池 荘八

台風国会知られて困るから隠す 三重県 橋本しげる

わが声と八月に逝きし声の群 石川県 野村 芳泉

敗戦日来しみ深む友と酒 神奈川県 天野三葉子

〈選后感〉国政を変革する好機がやってきた。新し  
い時代をつくるたたいの息吹。この好機に巡り合  
わせたことは喜びである。誰にも口誦されるような  
「変革的リアルズム俳句」をこの機に。

川柳

Jアラート戦時の悪夢また見せる

〈評〉朝ドラを見ながら寛ぐ朝のひととき。急に場  
面が変わって「ミサイル発射」正に空襲警報そのも  
のです。

圧力と制裁だけで能が無く 鳥取県 大久保禮吉

電気代値下げで狙う再稼働 埼玉県 福家 駿吉

幕引きは劇場だけにしてほしい 大阪府 大和 峯二

国防費喰ってすくすく軍隊へ 宮城県 根本 京子

大阪府 佐々木雅博

望月たけし選

望月たけし選

支部再建・会員訪問で会費100%

東京・練馬支部

練馬支部は、2014年に再  
建、役員会を毎月開き、学習、  
映画会などをすすめています。

再建後、まず会員名簿を整理し  
会費納入状況をつかみ、役員で  
手わけし訪問、電話で連絡をと  
り14年度は、135%、15年度

は116%、16年度  
121%と前進をか  
ちとっています。現  
在長期未納者2人、  
現在会員80人。



「種まく人びと」上映と学習会

その場で5人が入会

岡山県本部

岡山市高松地区で開かれた  
「映画『種まく人びと』を観て、  
治安維持法を学習する会」に県  
本部からも参加しました。地元  
の会員と近藤紗智子県本部常任  
理事が尽力され現地から7名参  
加。上映後、県本部福井事務局  
長が、治安維持法と岡山での闘  
いを語り、同盟への入会を訴え  
ました。するとその場で5名の  
方が会費を払って入会しました。

# 不屈の闘いは海を越えて

沖繩県会議員 比嘉端尋



中央 伊波参院議員、左比嘉県議、その左糸数参院議員

今回の訪米行動は、辺野古新基地建設問題の当事者であるアメリカ

私たち訪米団は、66万人が加盟するアジア・太平洋系アメリカ人

沖繩県民の不屈の闘いが広がり、連帯する仲間が増えること、運動を広げていくための有意義な意見交換もできました。

帰国後に嬉しいニュースが入ってきました。ノーベル平和賞も受賞した国際的な平和団体「軍事化や米軍基地に反対する非暴力の取り組み」を評価して、オール沖縄会議に平和賞を授与するというのです。私たち沖縄県民の不屈の闘いは、海を越えて国際社会にも大きく広がっています。連帯の輪をさらに大きく広げるために、これから奮闘したいと思えます。

【訂正】「不屈」519号「石川県本部総会記事」中「柴田みきさん(弁護士)」は「柴田みきさん(弁護士)」でした。訂正します。

## 事務局日誌

- 9月6～7日 東北ブロック会議
- 9月7～8日 近畿ブロック会議
- 9月9日 東京都本部大会
- 9月10～11日 中国ブロック会議
- 9月13日 「不屈」編集会議
- 9月19日 安倍政権退陣を求める国会行動
- 9月20日 国際人権活動日本委員
- 9月20～21日 北信越ブロック会議
- 9月27日 平和の権利実行委員会
- 9月28日 母親大会実行委員会
- 9月28日 三役会議・国際部会
- 9月29日 常任理事会・女性部会

## 第28回全国女性交流集会に こぞってご参加を

日時 11月12日(日)

12時30分より受付、1時開会

13日(月)午前9時～分散会 12時閉会

会場 ニューウェルシティ湯河原

〔静岡県熱海市泉107 電話0465-63-3721〕

記念講演 「時代の証言者 伊藤千代子」

講師 藤田廣登さん(同盟常任理事・伊藤千代子研究の第一人者)

オブショナルツアー (13日午後)

「万葉公園と湯河原美術館」日本の歴史公園100選、の万葉公園と日本プロレタリア美術家同盟を創立し、山宣の告別式の絵・「労働葬」などで有名な画家・矢部友衛の絵などを展示している湯河原美術館を訪ねます。申込みは、中央本部事務局まで。締め切り10月25日。

2017年秋季号

# 『治安維持法と現代』

10月末発売

【主な内容】強権政治を乗り越える力(仮)＝石川康宏・神戸女学院大学教授。北朝鮮核問題の外交的解決＝川田忠明・平和委員会。教育勅語、その歴史と問題点＝藤田昌士・元立教大学教授。〈エッセイ〉「大戦起る この日のために獄をたまわる」(橋本夢道句)＝殿岡駿星。治安維持法下の弾圧 群馬県滝川村の治安維持法犠牲者＝菊池誠一・昭和女子大学教授。松本平の治安維持法＝手塚英男。岡山での3・15弾圧と民主的医療運動の先駆者 大栗清實＝松岡健一。治安維持法と弁護士―「労農弁護士団事件」中心に＝関 勲。山宣を偲ぶ五泉の集い成功の教訓＝相沢寛。岩田義道研究会での10年＝飯田勇。資料研究 大月源二の多喜二鎮魂の絵「走る男」＝上野武治など。A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟